法友倶楽部　第４回広報委員会議事録

作成者　辻村幸宏

日　時：令和５年８月１０日（木）午後５時から午後５時４０分

場　所：弁護士会館１１０２号室とZOOM併用

出席者：辻村、山田（敬）、籔根、大原、永木、田中（敬称略　順不同）

１　かわらばんNo.7について（大原会員）

　８月３日午後にレターケースに投函。参加者は４、５人（＋耕文社３人）で行った。１時５０分開始し、２時３０分には終わった。

　次号に向けて、スケジュール感をまとめたものを次号編集長となる玉野会員に送った。

（気づいたこと、問題点など）

　・書式のフォーマットがないため、写真の割付などがわからない。書式を作った方がレイアウトしやすいと思われる。ジュニア旅行の写真を入れてもらったときに収まるのか迷ったので、どの程度の空白ができるかもわかるようにする方がよい。

　・８ページにするか１２ページにするかの計画を早めに立てないといけない。レイアウトにも影響する。

２　９月以降の委員会の議題について

９月、１０月はホームページ更新の仕組みづくりに集中したい。行事予定のアップ、新人のアカウント発行、更新や取り扱いについて詰めておく必要がある（辻村）。

また、以下のような意見もあった。

・過去の行事予定が今年の行事のように見えて誤りの元となるので削除すべきではないか。

・会員紹介の変更、削除などの時期やルールを決めておく必要があるのではないか。

・「かわらばんNo.7」のデータをアップしておく必要がある。→大原会員から受領したのでアップ済み（8月18日完了）。

３　その他

　次期幹事長となる井﨑先生が法友１４９号の編集長となるが、基本的には政策の方に力を取られるため、実質的には副編集長が副会長候補者の応援等多数の記事の取りまとめを負担することになる。過去の経験もあることから、田中章弘委員が担当を申し出てくれた。

　田中委員の意見として、記事の準備について、恒例の「１０年の節目」（次号は下一桁が６の期の会員となる）の記事は早めに準備して書いていただくこととしたい、とのことであった。

　訃報として、樺島正法先生が対象となる（会議の後、吉川実先生についても幹事長から訃報のメールがあった）。追悼記事を書いてくださる会員の人選については、竹岡先生、播磨先生等会内のことをよく知っておられる先生に確認する（委員長の役割か）。

　暑気払い（８月１０日実施）については、過去の例も踏まえて、広報委員会予算から２万円を出させていただくこととした。

４　次回以降の日程

　⑤9月12日（火）12時、⑥10月19日（木）12時、⑦11月14日（火）12時、⑧12月12日（火）12時、⑨2024年1月18日（木）12時、⑩2月16日（金）12時、⑪3月18日（月）17時（その後うちあげ）